

浅間隠山（1757m）と一ノ倉沢出合巡り

期日 2011年7月1日～2日

記録 石川

参加 石川 誠・佳子

7/1日 曇り時々雨 暑し

自宅 7:30 分発－関越道経由－12:30 浅間隠山登山口着 13:00 発－14:30 浅間隠山頂上着－14:45 発
－登山口 15:45 着－16:00 発－16:20 倉沢川浦温泉『はまゆう山荘』宿泊

車を県道脇の駐車スペースに止め、登山口から落葉松林の中の沢沿いの道を辿り、ジググに作られたゆったりとした道を辿る。周りにはレンゲツツジが盛りを過ぎていたが咲いていた。アヤメの紫がやけにきれいであった。北軽井沢への道を分け、傾斜のきつくなかった登山道をわらび平分岐へ、天気良ければ秩父や上州、富士山まで眺められるとの事だが、今日はあいにく曇って眺望は良くない。ここからは頂上まであとわずかダラダラした登りを経て頂上に着く。晴れていれば360度の眺望とのことだが、目の前の浅間山もこの山の名前のおり頂上は雲に隠れている。蒸して暑く汗びっしょりである。雨には下りで少し降られたが、さいわい林の中で濡れなかった。帰りは元来た道をのんびり下り、今日の宿、はまゆう山荘で汗を流す。



アヤメ



レンゲツツジ



登頂証明



雲の下 浅間山

7月2日曇り時々晴れ、にわか雨暑し

山荘 8:50 発—榛名湖、伊香保温泉経由—天神^{ロープウェイ}駅 11:00 着—11:20 発—マチガ沢、一ノ倉沢出合
12:20 着—13:00 出合い発—谷川岳山岳博物館見学し、駐車場 14:50 発—帰宅 20:00 着

「はまゆう山荘」は今年開設25周年、横須賀市が小栗上野介と縁の深い倉沢村と姉妹都市を結び建設したものである。大変モダンな素晴らしい施設であり、現在は高崎市が管理し、横須賀市民にも割引制度があるとのことであった。

今日は帰るだけであったので近くにある榛名湖に寄り、時間も有ったので伊香保温泉を経由し、関越道を水上から谷川岳に向う。今日7/2日は、「谷川岳の日」として制定され水上町を上げてのイベントが開かれていた。一ノ倉沢への道を木漏れ日の中、森林浴よろしくのんびりと歩く。出合では、野点、勇壮な「デンドコ三国太鼓」や琴の演奏など開かれ見物する。野点では和服のご婦人方が結構なお手前でお菓子とお茶を振舞ってくれ思わぬ思い出が出来た。

帰り際、山岳博物館を覗く。ここは群馬岳連の八木原氏が館長で谷川岳登山、初登攀、に縁のあった松本龍雄氏、南博人氏、吉尾弘氏などの備品、緑山岳会の寺田甲子男氏、安川茂雄氏など多くの方々の文献、2階にはヒマラヤ関連の多くの資料が保管され、戦前戦後の谷川岳を巡る資料について興味深く時間の経つのも忘れてしまう良い資料館でもあり、一度見学することをお勧めしたい。

7/2日夜 横山、神谷両氏は昔懐かしい上越線夜行列車でと土合入りするとのことである。



倉沢川浦温泉 「はまゆう山荘」



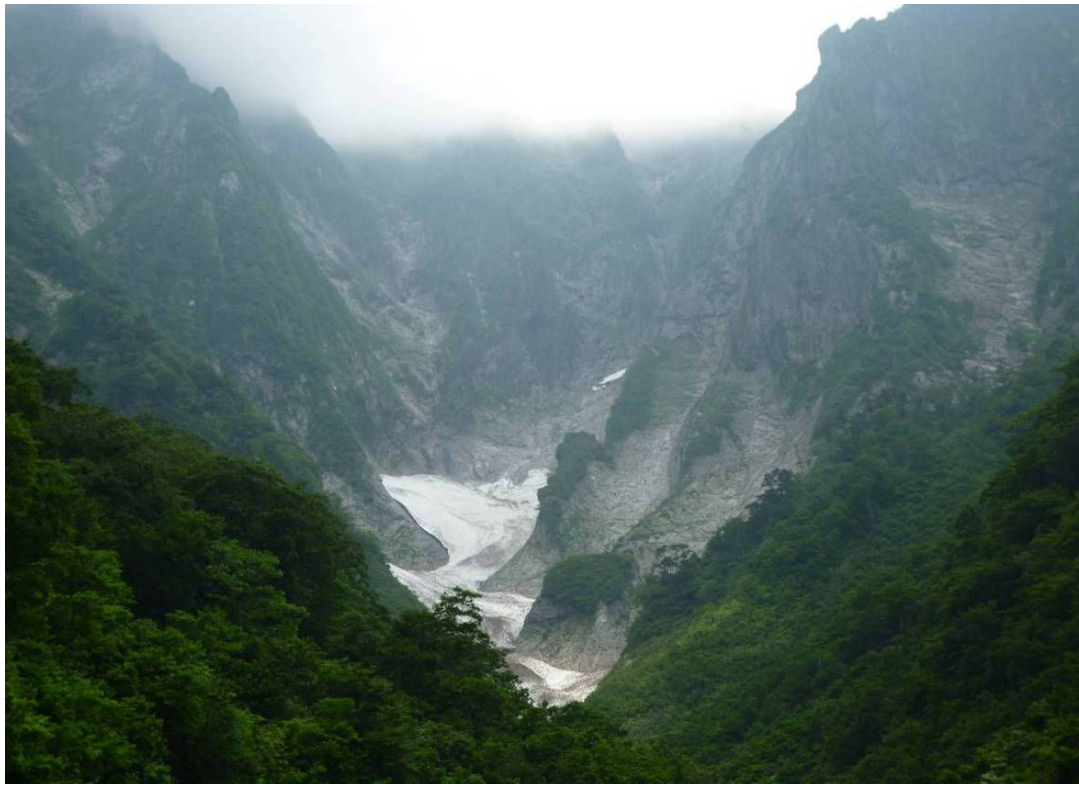
ハンゲショウ



榛名湖からの榛名山



谷川岳の日



一ノ倉沢 ヒョングリの滝もまだ埋まっていた。



「デンドコ三国太鼓」一座の勇壮な演奏



太鼓の音が一ノ倉沢に大きく鳴り響く



箏 曲